

特定非営利活動法人中野の介護と福祉を考える会

News

2017 年 10 月号

発行責任者：横塚 (tel : 03-5380-7021)

私たちは「特定非営利活動法人 中野の介護と福祉を考える会」です。
前は、2012 年に「創刊号」を出したので、5 年ぶりになります。

「特定非営利活動法人 中野の介護と福祉を考える会」は、2009 年 8 月発足し早いもので、今年で 9 年目になりました。(介護事業所を始めたのは 2013 年)
まだまだ、知名度はありませんが、中野の地元でみんなが安心して生活できる介護と福祉の活動をしていくことを目的に、中野区に在住している人を中心として活動しています。

広く地域住民を対象にして、高齢者・障がい者の介護支援、子育て支援等福祉に関する事業、福祉職種の資質向上・人材育成等や、高齢者・障がい者と子どもの交流・ふれあいの事業等を行い、地域の全ての人々が安心して生活できる介護と福祉の増進に寄与することを目的とする。(定款3条<目的>より)

News も、子どもの話題、高齢者の話題、障がい者の話題などにふれながら、作っていかうと思っています。
ぜひ、感想をお寄せください。

中野地域包括支援センター
梅原悦子さん

元気な高齢者：

平成29年から中野区でも介護予防日常生活支援総合事業が始まりました。

制度の名前は長くてわかりにくいのですが、その事業のひとつとして住民主体型通所介護というサービスがあります。介護の専門職ではなく、地域の方が主催でつどいあう、ちいさなデイサービスの様なイメージです。

6月に始まった「なかの・ももぐみ」は毎回趣向を凝らしたメニューをそろえていて、集まる人も元気一杯。中には要介護認定を受けている方もいますが、満面の笑顔で参加されています。始まったときは「送迎がなくて大丈夫かな？」と心配しましたが、友人同士、お互いに誘い合って通ってきています。

私たちは、支援が必要になった方とお付き合いすることがほとんどなので、つい出来ないことに目が向いてしまいがちですが、高齢者だからと言って支援が必要な方ばかりではないこと、たとえ支援が必要になっても、地域の大切な仲間であることに代わりはないことを再確認することができました。

ご興味のある方は、ぜひ地域包括支援センターにお問い合わせください。

パパ・ママパワー

あっぱれ！！

このはな保育園園長
篠崎純子さん

「保育園落ちた…」のママ達の叫びの頃、私の勤め先の父母達が「認可保育園増設」の要望を役所に持ち込んでいた。

私も何か出来る事はないかと考え、勤め先付近の不動産巡りをした。

不動産屋は、お金の臭いを瞬時に見分ける。

「保育園の用地を」までは笑顔で聴き、「安く貸してください」と続けた途端に門前払いであった。そんな折、

「土地活用で保育園を」という地主さん、「すぐに建てましょう」という事業者と出会い、あれよあれよという間に、現在私のいる保育園を建てる事ができた。

〇〇学園みたいに、「付度」はなかったけれど、「草の根の声」のようなものが、物事を進め変えていく様を実感した。

子ども達の卒園祝いに、私はきっこう言うと思う。

「君達のママパパは、世の中をしっかりと動かし、この保育園を作ったんだよ」と。

こ今後の研修予定

福祉職キャリアアップ研修第1弾
「介護支援専門員のための対人援助技術」
2017 年 10 月 25 日(水曜日) 19：00～
スマイル中野会議室にて
先着 20 名

福祉職キャリアアップ研修第2弾
「介護支援専門員のための対人援助技術 2」
2017 年 12 月 14 日(木曜日) 19：00～
スマイル中野会議室にて
先着 20 名

講演会
「家族の命と地域を守る
-防災の話-」
2017 年 11 月 30 日(木曜日)
19：00～
スマイル中野 3階多目的室
地域の防災会の方にお話を
うかがいます。

私たちは今後も、

- ① 子育てをしている人を応援する「おせっかいおばさん」を増やす活動
- ② 介護事業所を中心に、介護を受ける人が安心して地域で過ごせる活動
- ③ 介護の専門職のキャリアアップの活動
- ④ 福祉って?など、生活に密着したことを学ぶ活動

・・・の活動を細々とつづけていきます。応援よろしくお願いいたします。